



## 後期人権教育月間



11月2日「正しく知ることの大切さ」校長講話より

「いじめをしない。許さない。そして、見逃さない。」「いじめを見たら、見逃さず、やめさせてください。先生方に相談してください。」「もし、自分がいじめにあっていたら、我慢しないでください。親や先生に心配かけたくないからと、我慢しないでください。心配するために大人はいます。心配をかけられるために大人はいます。」「また、苦しい時や辛い時に誰かに助けを求めることは、当然のことであり、それを「チクった」などということばで、まるで誰かに助けを求めることが悪いことのようにすりかえることはやめてください。という話を昨年の入学式でさせてもらいました。覚えてくれているでしょうか？今、私たちの青木中学校は、いじめのない学校になっているのでしょうか？自分のクラスの中に、辛い思いや苦しい思い、悲しい思いをしている仲間はいないでしょうか？どんな理由があろうとも、いじめや差別はあってはならないものです。

30年以上中学校の教師をやってきて、とてもたくさんの生徒のみなさんと悩んだり、考えたり、涙を流したりして、いじめや差別について私も学んできました。そこで、考え、感じたことがあります。それは、**正しく知ることの大切さ**です。正しく知らなかったために差別がおこり、そのことによって命を落とさなければならなかったできごとが過去にたくさんありました。

これからの人権教育や社会の歴史の時間で学んでいきたいと思います。被差別部落の問題、ハンセン病の問題、関東大震災の時の朝鮮人差別の問題。第二次世界大戦中の人々の生活に関する問題、また、障がいをもった方々に対する差別、外国人に対する差別、男女差別、LGBTに関する差別、そして新型コロナウイルス感染症に関わる誹謗や中傷など、正しく知らないから、あるいは誤った価値観をもっているから起きてしまっている差別だと私は思います。

みんなが言っているからとか、みんながやってきたものだからとか、大人が言っていることだからなどとしてしまい、誤った情報を信じてしまっていることだってあります。多数派が必ずしも正しいとは限りません。大人が言うことが必ずしも正しいとは限りません。先生が言うことだって全てが正しいとは限りません。意図的に間違ったことや嘘を言うつもりでなくても、間違った情報が世の中にあふれてしまうことだってあります。

では、正しく知るためにどうすればよいと思いますか？これもその答えは1つではないと思います。全校のみなさんの考えや思いをまた、聴かせてください。

11月は後期人権教育月間でした。各学年いろいろな内容を学習しました。今月号は、その紹介をします。それをきっかけに、ぜひ、人権について改めてご家庭や地域で話してみてください。

「誰か」のこと  じゃない。

人権週間  
12月4日-10日

## ◇◇◇◇◇12月の予定◇◇◇◇◇

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1日(木) 6年生授業参観 | 2日(金) 1年生校外学習       |
| 7日~13日 保護者懇談会 | 15日(木) 生徒総会         |
| 16日(金) 生徒会引継会 | 20日(火) 薬物乱用防止教室     |
| 23日(金) 図書館閉館日 | 27日(火) 2学期終業式・賞状伝達式 |
| 28日(水)~年末休業   |                     |



## 1年生車イスBCの体験10/18

馬島誠さんと(株)共立プランニングのスタッフにご来校いただき、「車いすボールチャレンジ」を体験させていただきました。真島さんは、辰野町出身。バンクーバー冬季オリンピックアイススレッジホッケーの銀メダリストです。今もウェトリフティングでオリンピック入賞を目指して日々努力を重ねていらっしゃいます。車いすに乗るとのこと、仲間と協力し合うこと、人のためになる喜び、チャレンジすることの大切さ、あきらめない馬島さんの生き方など、本当に多くのことを学ばせてもらいました。

1年生は人権月間で他にも「みんなのニガテ」について考えたり、タントキッズ青木の飯島さんをお呼びして「障がい」について考えたりしました。1年生は「実際にやってみる」、「人と会ってみる」という経験から学んでいます。

## 2年生認知症サポーター講座 10/28

青木村地域包括支援センターの方からの紹介で2年生は認知症サポーター養成講座を行いました。NPO法人やじろべーの中澤純一さんによる「認知症を理解しサポーターになろう」という講座でした。認知症はどこか遠くの誰かの話ではなく、身近な話であるということ、そして、その人の行動の意図を考えて誰かと接することが大切だと改めて気づきました。

「正しく知ること」の大切さに気づいた2Aの生徒の感想です。

- ・認知症というものを詳しくは知らなかったけれど、自分もなる可能性はものすごくあることも分かったし、家族内で認知症かもしれないと思ったら優しく接したり、ちゃんと理解したりしてあげるのも大切だなと思いました。また、地域の中だけじゃなくて、どんどん挨拶や声をかけるとか、自分から周りに発信していきたいと感じました。自分も今失敗することが多いけれど、前を向いて進んでいきたいです。
- ・認知症という言葉は知っていたけれど、認知症のつらさや苦勞や、認知症の人たちは誰かの役に立ちたいと思っていることを知ることができてとても良かったです。認知症は脳の障がいからくることや認知症の方との接した体験談から接し方を学ぶことができたので、日常生活に今回学んだことを生かしていきたいと思いました。本当に優しい人は勇気がある人、周りの評価なんて気にしないことなんだと学び、自分も勇気をもって何かをしたりして本当に優しい人になっていきたいと思いました。一番心に残った部分です。

つ越してきた外国人に対する偏見から、「普通」とは何か考えました。これらから「正しく知ること」が大切であると学びました。正しく知らないのに憶測や噂で人を判断しない、物事や相手を深く知ろうとすることが重要であると学びました。

3年生は前期に引き続き、「結婚」というDVDを見て「被差別部落の問題」について考えました。3年生は中学校での人権教育の学習は最後になります。しかし、「正しく知ること」の大切さを忘れないでいて欲しいと思います。

## 「信州教育の日 青木大会」が行われました。

写真は11月19日、信州教育の日青木大会の座談会「通学合宿がくれた宝もの」に参加した3年生の様子です。自分たちの経験を自分たちの言葉で丁寧に伝える3年生の姿はとてもステキでした。青木村の教育について多くの方に伝わったと思います。学びの発表②では義民太鼓の映像が流れました。文化祭での感動がよみがえってきました。まだ『YouTube』で見ることができます。ぜひどうぞ。

12月は2学期のまとめの月です。生徒総会/引継会、懇談会や終業式などがあります。体調に気をつけながらしっかりとまとめをしていきます。秋に行われた税の作文などの表彰式の様子や、新人戦の結果報告など次回お伝えします。



### 生徒の感想より

- ・相手の立場を考えてやることを意識した。皆で協力して得点すると楽しかった。得点をとるために考えた案を実際にできた時が特に楽しかった。
- ・真島さんのお話から、「すぐにあきらめず頑張ってやっぺいこう」「チャレンジしよう」と思った。
- ・「車いすボールチャレンジ」でなくても、「相手を考えること」とか協力が大切だと改めて感じた。



2年生は人権月間で「ハンセン病」と「放射能」がテーマとなったDVDを視聴しました。前半では、当時の日本の政策により、ハンセン病患者は隔離され、患者ならびに家族は差別され人権がなかった実態を学びました。後半の放射能での学習では、東日本大震災後の福島から転校してきた友人家族や引

